

2022 年 12 月

Newsletter

フェアスカイ特許法律事務所

FAIRSKY LAW OFFICE

住所:

北京市朝陽区建外大街 22 号
サイテックタワー 18 階

18TH FLOOR, SCITECH TOWER,

22 JIAN GUO MEN WAI AVE.,

CHAOYANG DISTRICT,

BEIJING 100022, P.R. CHINA

E-mail: email@fairskylaw.com

TEL: 010-59512166

FAX: 010-59512121

2023 年 1 月 1 日から「ニース分類第 12 版 2023」を正式使用

先日、国家知識産権局商標局は、「ニース分類第 12 版 2023」の正式使用に関する通知を発表した。世界的所有権機関の要求に基づき、ニース協定の各加盟国は 2023 年 1 月 1 日から「ニース分類第 12 版 2023」（ニース分類新バージョン）を正式に使用する。

出願日が 2023 年 1 月 1 日以降の商標登録出願は、商品サービス項目の分類を行う際にニース分類新バージョンが適用され、2022 年 12 月 31 日以前の商標登録出願はニース分類旧バージョンが適用される。

出典：国家知識産権局

国家知識産権局、「ワールドカップ」「LAEEB」などの冒認商標出願を却下し、27 商標の出願人及び代理人を公示

第 22 回国際サッカー連盟（FIFA）ワールドカップ（W 杯）サッカー大会がカタールで開催され、世界の注目を集めた。しかし、少数の法人、自然人は不当な利益を図ることを目的として、「ワールドカップ」、有名なスターの名前、ワールドカップのマスコット「LAEEB」「ライブ」などのホットワード、ロゴに関する冒認商標出願を行い、社会の公共利益、他人の氏名権及びその他の合法的権利を侵害した。

国家知識産権局はカタール W 杯の知的財産権保護活動を重視し、悪意のある冒認商標出願行為を断固として取り締まり、商標法第 10 条第 1 項第 7 号などの規定に基づき、第 66,999,855 号「世界杯」、第 63,803,887 号

「LAEEB」など 26 件の商標登録出願を却下し、また、「商標法」第 44 条第 1 項の規定に基づき、登録第 63,767,652 号「LAEEBS」商標について職権により無効宣告した。

国家知識産権局は引き続き悪意のある商標登録を取り締まるための特別行動を展開し、ワールドカップ、ワールドカップのマスコット、有名なスターの名前を含むワールドカップのホットワード、ロゴの保護を強化する。また、誠実な信用原則に違反し、悪意を持って商標を奪い不当な利益を図る出願人とその委託した商標代理機構を厳粛に法に基づいて処理し、風清らかな商標登録管理秩序を維持し、市場主体の合法的権益を確実に保護し、公共利益を守る。

出典：国家知識産権局

最高人民法院、人工知能の司法応用の規範化と強化に関する意見を発表

12 月 9 日、最高人民法院は人工知能の司法応用の規範化と強化に関する意見（以下、「意見」という）を発表し、人工知能と司法活動の深い融合を推進し、スマート裁判所の構築を深化させた。

「意見」は、2025 年までに比較的完備した司法人工知能技術応用システムを基本的に構築し、人民のため、公正司法のために全方位的な知能支援を提供することを提案した。

「意見」は人工知能が司法活動に全方位的な知能支援を提供し、裁判官の

2022 年 12 月

Newsletter

フェアスカイ特許法律事務所

FAIRSKY LAW OFFICE

住所:

北京市朝陽区建外大街 22 号
サイテックタワー 18 階

18TH FLOOR, SCITECH TOWER,

22 JIAN GUO MEN WAI AVE.,

CHAOYANG DISTRICT,

BEIJING 100022, P.R. CHINA

E-mail: email@fairskylaw.com

TEL: 010-59512166

FAX: 010-59512121

事務的な仕事の負担を著しく軽減し、廉潔な司法を効果的に保障し、司法管理レベルを高め、革新的に社会管理にサービスするなどの角度から、人工知能司法応用の主な場面を明確にした。

「意見」は、人工知能の司法応用は安全性と合法性、公平と公正、補助裁判、透明性と信頼性、公序良俗の 5 つの基本原則に従う必要があると提案した。また、「意見」は、人工知能の建設と応用は国家の安全、合法的権益を侵害してはならず、国家の秘密、ネットワークの安全、データの安全と個人情報情報が侵害されないことを確保してはならないと強調した。人工知能製品とサービスは差別、偏見がなく、技術介入、データまたはモデル偏差によって裁判過程と結果の公正に影響しないことを保証し、知能化司法サービスが各種のユーザーに対する普遍的な包容力と機会の均等を確保する必要がある。

原文 URL (中英対照) :

<https://www.court.gov.cn/fabu-xiangqing-382461.html>

出典：最高人民法院

ファーウェイ、世界で 20 以上の特許ライセンス契約を締結 2 年連続で特許ライセンス収入が支出を上回る

12 月 15 日に、ファーウェイは同社の特許ライセンス収入が 2 年連続で支出を上回ったと発表した。ファーウェイの米国首席知的財産権法律顧問 Steven Geiszler 氏によると、ファーウェイは 2019 年から 2021 年にかけて世界から約 12 億ドルの特許ライセンス収入を得た。

報道によると、ファーウェイはベンツ、アウディ、BMW、ポルシェなどのトップクラスの自動車メーカーに技術を供与している。米国制裁がコアビジネスに打撃を与えている背景が、ファーウェイが特許を新たな収入源とする要因ともなっている。

ファーウェイ知的財産権部のグローバル責任者 Alan Fan 氏によると、これらの特許ライセンス契約はいずれも今年下半期に成立し、世界で毎年生産される 7,000 万台の自動車のうち 1,500 万台がファーウェイ技術を使用することを意味している。また、ドイツの自動車メーカー 4 社のほか、ファーウェイは日本のスバル、フランスのルノー、イタリアのランボルギーニ、英国のベントレーとライセンス契約を締結した。

更に、ファーウェイは今月初旬、サムスン、OPPO とそれぞれ特許クロスライセンス契約を締結したと発表した。

ファーウェイは米国の制裁に対応し続けているが、これらの制裁はファーウェイのスマートフォン事業と内部半導体開発事業を大きく弱体化させている。米国の輸出規制行為は、ファーウェイがこの 2 つの分野で世界のサプライヤーと協力することを禁止していることを意味する。

出典：知的財産家